【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成17年1月6日(2005.1.6)

【公開番号】特開2002-11410(P2002-11410A)
【公開日】平成14年1月15日(2002.1.15)
【出願番号】特願2000-198286(P2000-198286)
【国際特許分類第７版】
　Ｂ０７Ｃ　1/04
【ＦＩ】
　Ｂ０７Ｃ　1/04

【手続補正書】
【提出日】平成16年2月10日(2004.2.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
重ねられた紙葉を一枚毎に分離して順次搬送路へ繰出する分離部と、
前記紙葉に記載された区分情報を読取る読取り部と、
前記読取られた区分情報をバッファへ順次蓄積するバッファ制御部と、
前記バッファ制御部からの区分情報を認識する認識部と、
前記認識した区分情報に基いて複数の区分箱に区分する区分ゲート部と、
搬送路を搬送する紙葉間の間隔を計測する計測センサ部と
からなる紙葉区分装置であって、
前記計測センサ部にて計測した紙葉間の間隔に基いて前記分離部からの紙葉の繰出間隔を制御することを特徴とする紙葉区分装置。
【請求項２】
請求項１に記載の紙葉区分装置であって、
前記計測センサ部にて計測した紙葉間の間隔が前記区分ゲート部における紙葉を振り分けるためのゲート動作可能な間隔以下になった時は紙葉の間隔を広げ、計測した間隔がゲート動作可能な間隔以上になった時は紙葉の間隔を狭めるように、前記分離部からの紙葉の繰出間隔を制御することを特徴とする紙葉区分装置。
【請求項３】
請求項１もしくは２のいずれかに記載の紙葉区分装置であって、
前記計測センサ部は区分ゲート部の前でかつ近傍に配置されたことを特徴とする紙葉区分装置。
【請求項４】
重ねられた紙葉を一枚毎に分離して順次搬送路へ繰出する分離部と、
前記紙葉に記載された区分情報を読取る読取り部と、
前記読取られた区分情報をバッファへ順次蓄積するバッファ制御部と、
前記バッファ制御部からの区分情報を認識する認識部と、
前記認識した区分情報に基いて複数の区分箱に区分する区分ゲート部と、
区分情報が読取られた後の搬送路上に配置された紙葉間の間隔を計測する第１の計測センサ部と、
前記第１の計測センサ部が計測した間隔の間隔変動差分を計測する第２の計測センサ部とからなり、

前記第２の計測センサ部にて計測した変動差分に基き前記分離部からの紙葉の繰出間隔を制御することを特徴とする紙葉区分装置。
【請求項５】
請求項４に記載の紙葉区分装置であって、
前記第２の計測センサ部にて計測した変動差分に基き搬送遅れが増加傾向にあると予想される場合には紙葉の搬送間隔を広げ、該変動差分から搬送遅れが減少傾向にあると予想される場合には紙葉の搬送間隔を狭めるように制御することを特徴とする紙葉区分装置。
【請求項６】
請求項４もしくは５のいずれかに記載の紙葉区分装置であって、前記第２の計測センサ部は区分ゲート部の前段でかつ近傍に配置されたことを特徴とする紙葉区分装置。
【請求項７】
重ねられた紙葉を１枚毎に分離して順次搬送路に繰出し、繰出されてきた紙葉上に記載された区分情報を読取ってこれを認識し、認識結果を基に複数の区分箱に区分する紙葉区分方法において、
最初は予め決められた間隔で紙葉を繰出すステップと、
紙葉間の間隔あるいはセンサ間の間隔変動差分を計測した結果、該間隔あるいは間隔変動差分が平均して増加する場合には紙葉間の間隔を広げるように、また該間隔あるいは間隔変動差分が平均して減少する場合には紙葉間の間隔を狭めるように、また該間隔あるいは間隔変動差分が変化しない場合には紙葉間の間隔をそのままにするように、それぞれ分離制御部に指示するステップと
を有することを特徴とする紙葉区分方法。